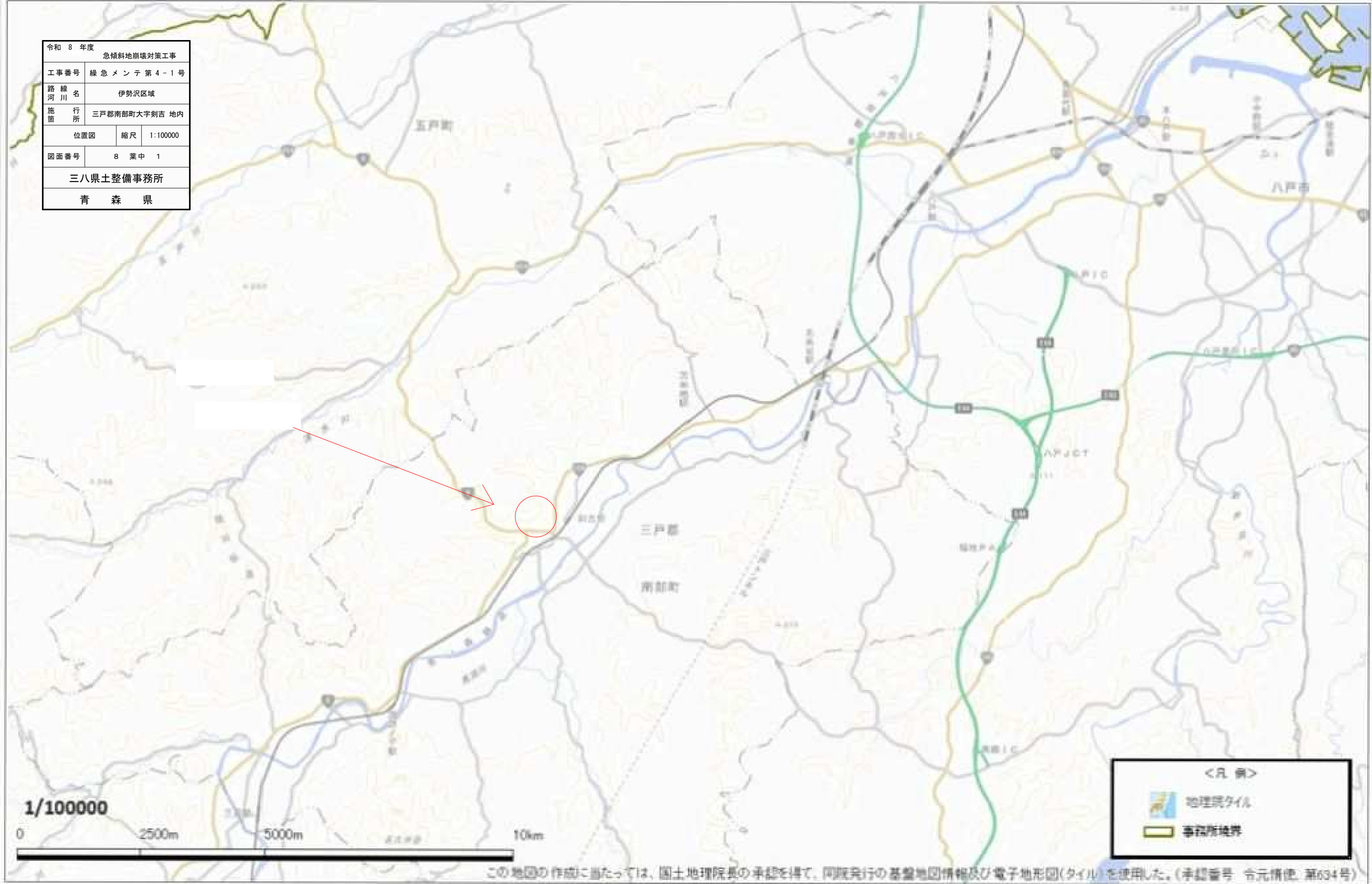


令和 8 年度				急傾斜地崩壊対策工事	
工事番号		緑 急メンテ 第 4 - 1 号			
路線 河 川		伊勢沢区域			
施 行 箇 所		三戸郡南部町大字剣吉 地内			
位置図			縮 尺	1:100000	
図面番号		8 葉 中 1			
三八県土整備事務所					
青 森 県					

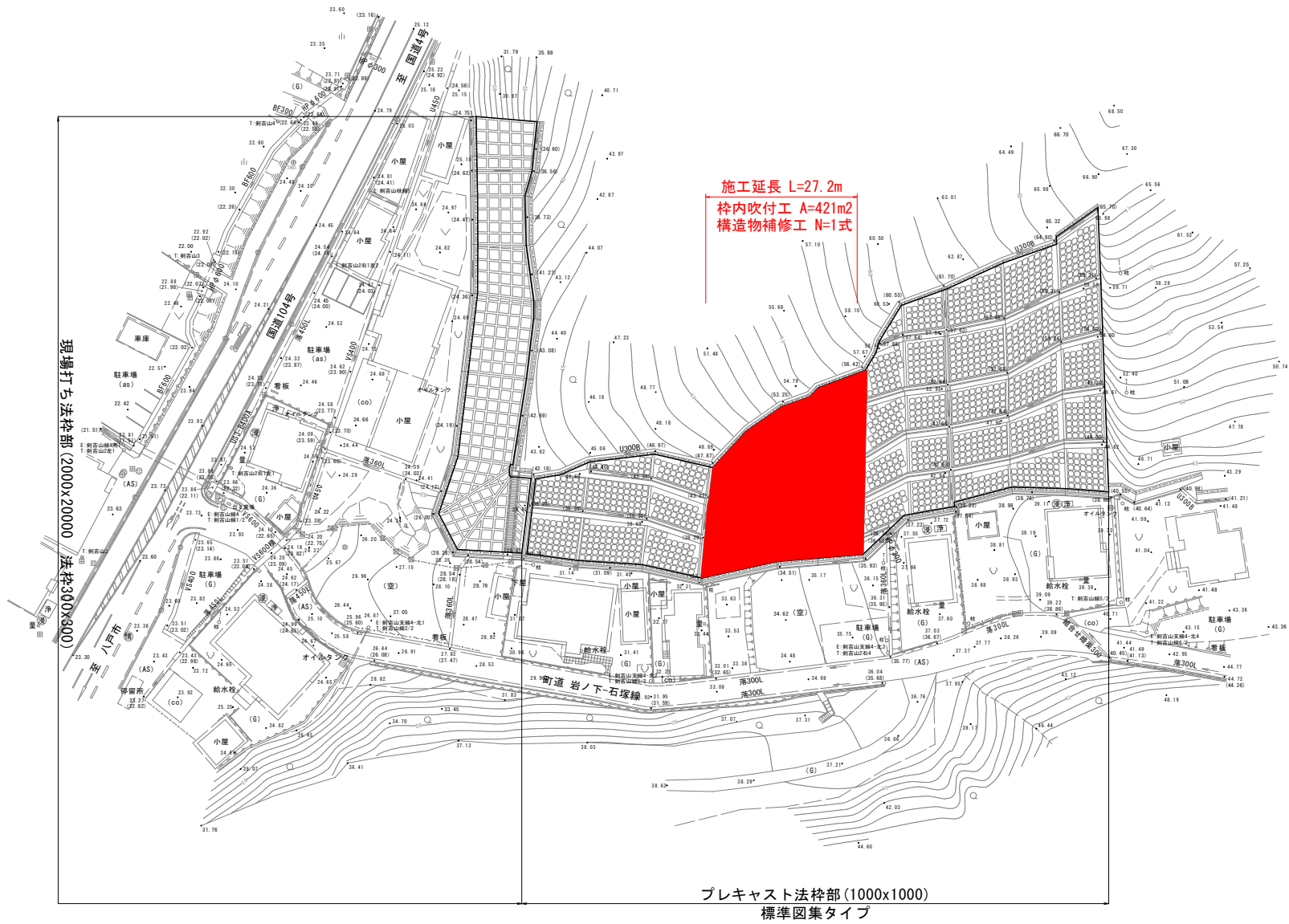


この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報及び電子地形図(タイル)を使用した。(承認番号 令元情使 第634号)

令和8年度 急傾斜地崩壊対策工事		
工事番号	繰 急 メ ン テ 第 4 - 1 号	
路 線 名	伊勢沢区域	
施 行 所	三戸郡南部町大字剣吉 地内	
平面図	縮尺	1:500
図面番号	8 葉 中 2	
三八県土整備事務所		
青 森 県		

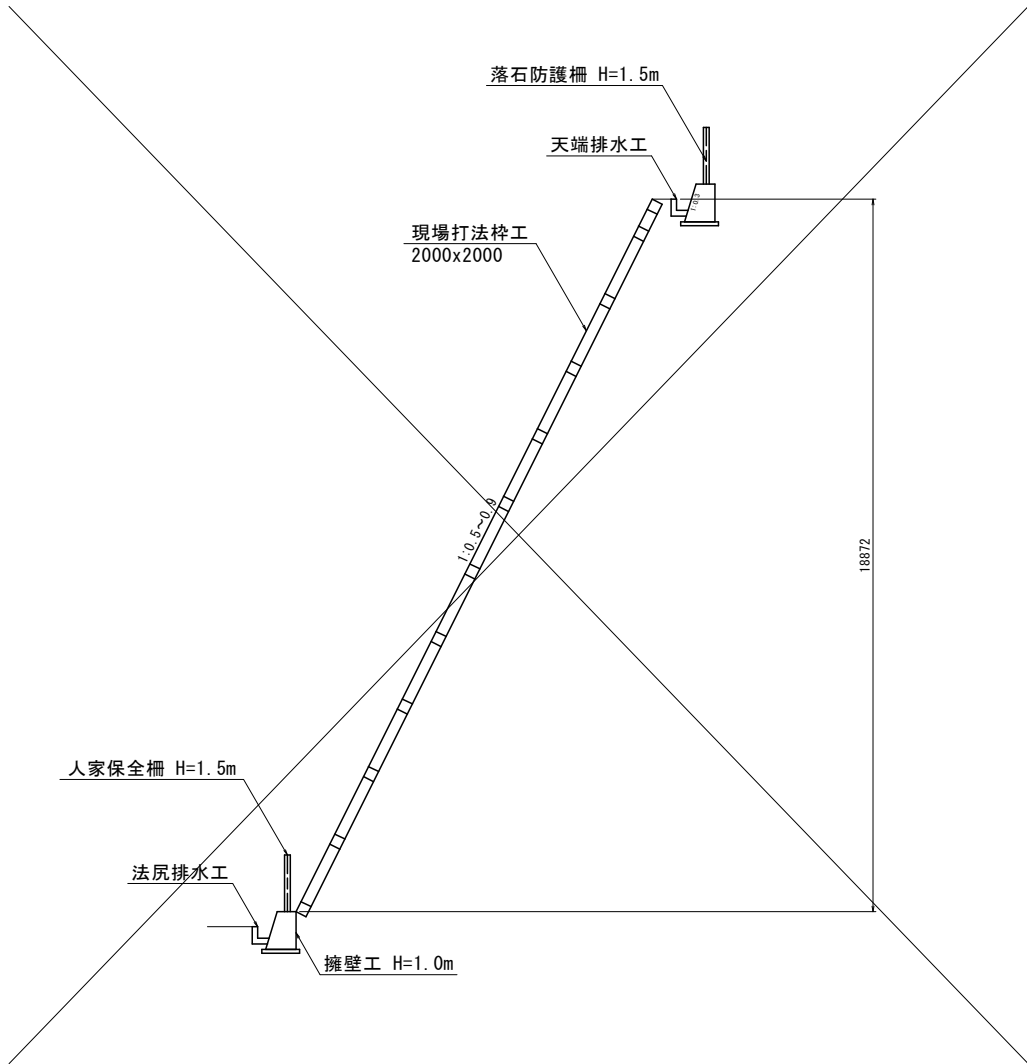
世界測地系 (測地成果2011)

平 面 図 S=1:500



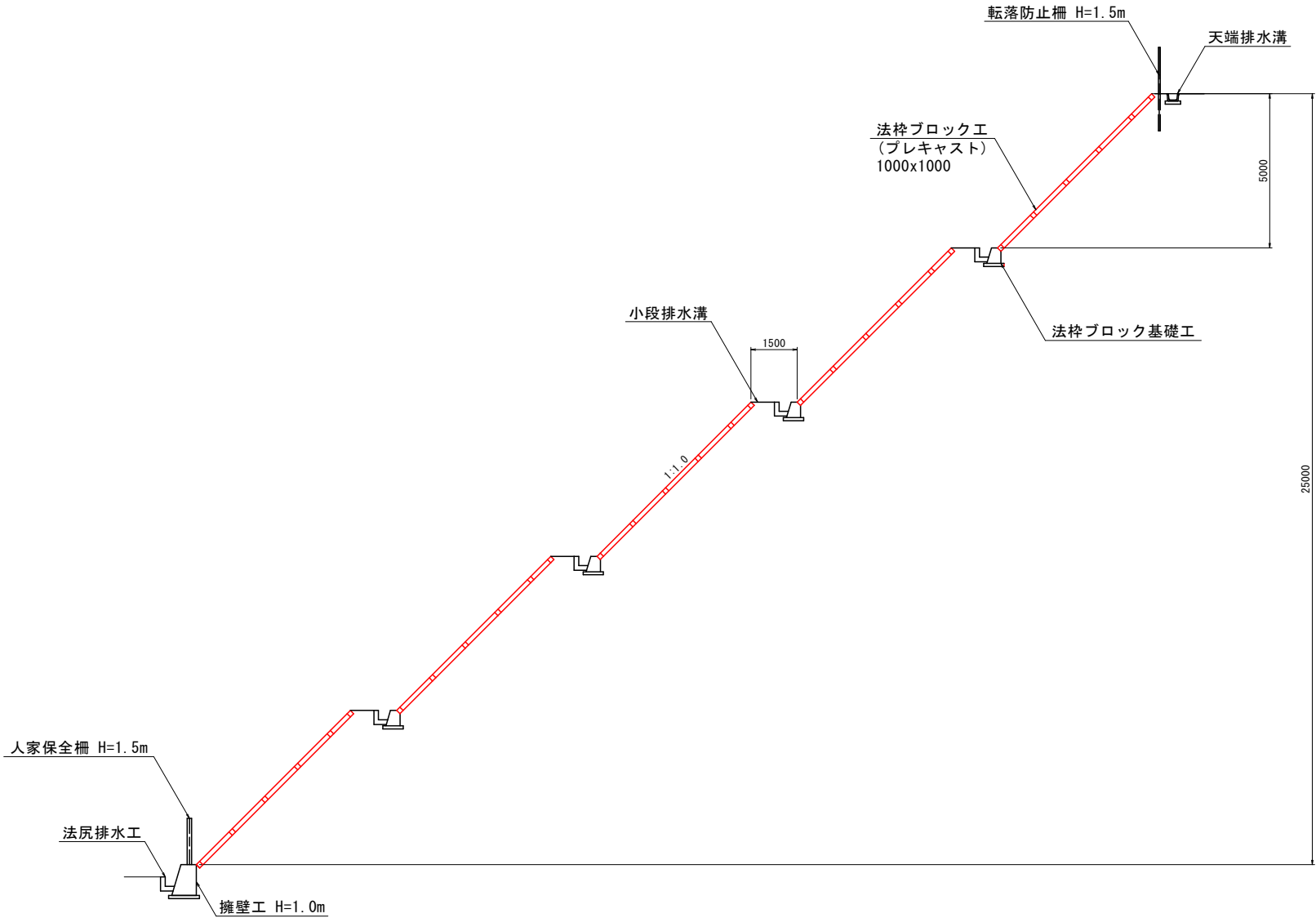
令和8年度	急傾斜地崩壊対策工事		
工事番号	緑急メンテ第4-1号		
路線名 河川	伊勢沢区域		
施行所 地	三戸郡南部町大字剣吉 地内		
標準断面図	縮尺	1:100	
図面番号	8	葉中	3
三八県土整備事務所			
青森県			

現場打ち法枠部



標準断面図 S=1:100

プレキャスト法枠部



特記事項  
1. 横断測量は実施していないため、台帳からの想定断面である。  
2. 法尻擁壁など地中部は不明であるため想定である。

令和8年度	急傾斜地崩壊対策工事		
工事番号	緑急メンテ第4-1号		
路線名	伊勢沢区域		
施行所	三戸郡南部町大字剣吉 地内		
構造一般図	縮尺	図示	
図面番号	8	葉中	4
三八県土整備事務所			
青森県			

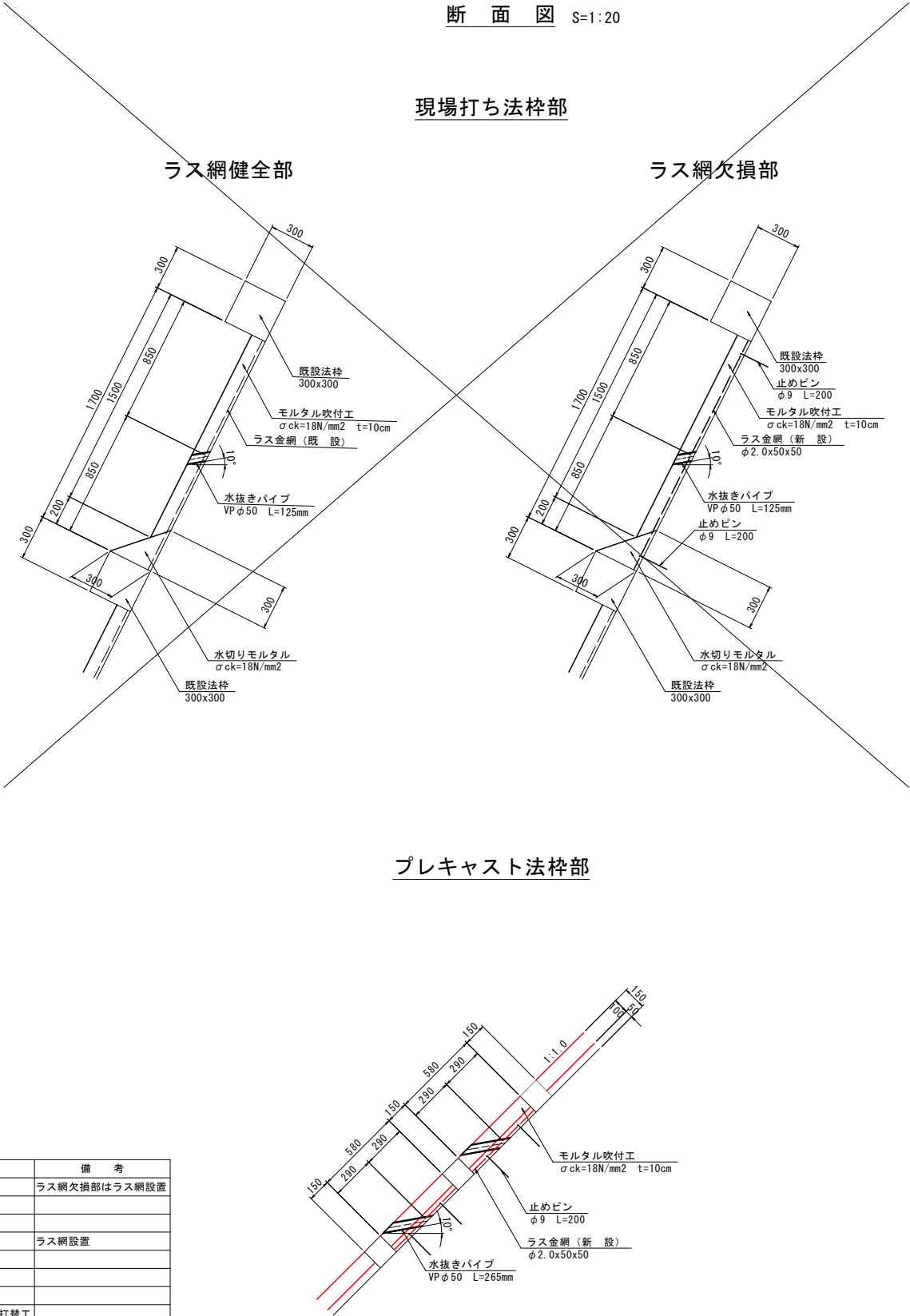
構造一般図

平面図 S=1:500



対象	対策工	備考
現場打ち法枠部	枠内モルタル吹付工	ラス網欠損部はラス網設置
	ひび割れ注入工	
	断面修復工	
	目地充填工	
プレキャスト法枠部	枠内モルタル吹付工	ラス網設置
	ひび割れ注入工	
	ひび割れ充填工	
	断面修復工	
	シールコンクリート打替工	
	目地充填工	

断面図 S=1:20





令和8年度	急傾斜地崩壊対策工事		
工事番号	緑急メンテ第4-1号		
路線名	伊勢沢区域		
施行所	三戸郡南部町大字剣吉 地内		
対策工計画図(2)	縮尺	1:150	
図面番号	8	葉中	5
三八県土整備事務所			
青森県			

対策工計画図（2） S=1:150

目地充填工補修数量

番号	幅(m)	深さ(mm)	延長(m)
②	0.0010	0.05	1.26
③	0.0010	0.05	1.26
④	0.0010	0.05	1.26
⑥	0.0010	0.05	1.26
⑦	0.0015	0.05	1.26
⑧	0.0015	0.05	0.75
⑫	0.0010	0.05	0.75
⑬	0.0010	0.05	1.26
⑭	0.0010	0.05	1.26

ひび割れ注入工数量表

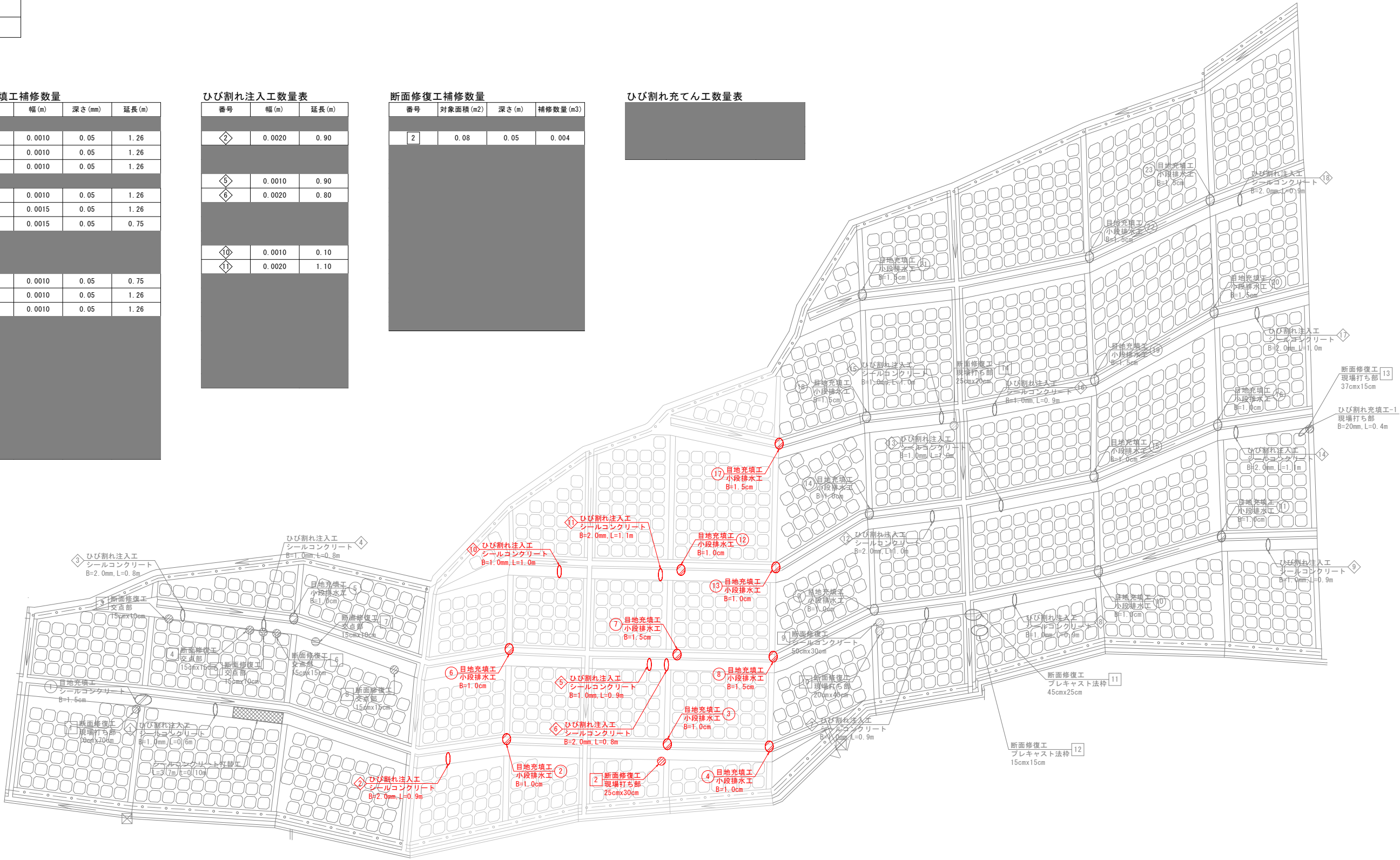
番号	幅(m)	延長(m)
②	0.0020	0.90
⑤	0.0010	0.90
⑥	0.0020	0.80
⑩	0.0010	0.10
⑪	0.0020	1.10

断面修復工補修数量

番号	対象面積(m2)	深さ(m)	補修数量(m3)
2	0.08	0.05	0.004

ひび割れ充填工数量表

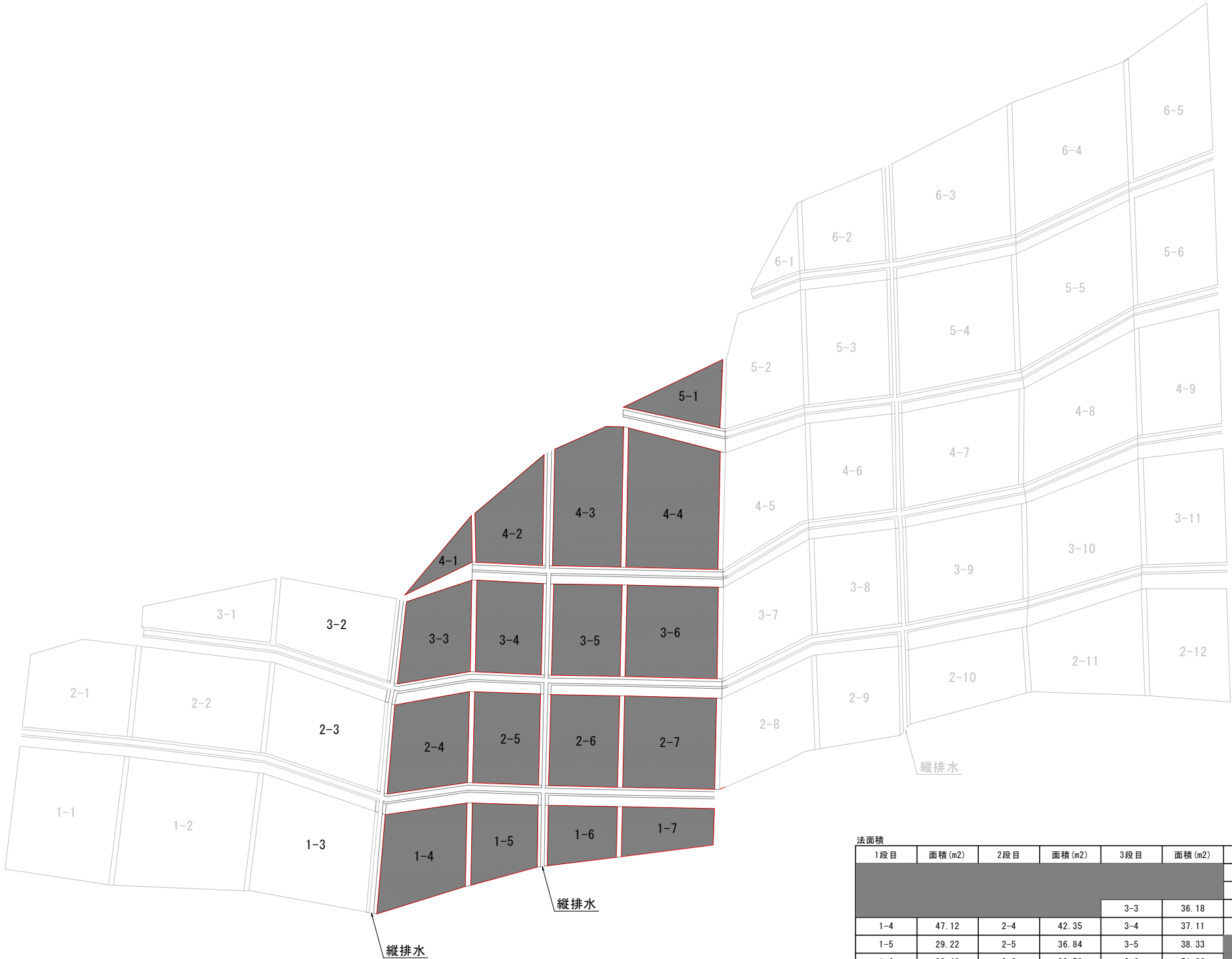
--



特記事項  
1. 展開図は想定によるものであるため、現地で計測すること。  
2. 延長及び面積は、CAD求積によるものである。

令和8年度	急傾斜地崩壊対策工事		
工事番号	緑急メンテ第4-1号		
路線名 河川	伊勢沢区域		
施行所 地	三戸郡南部町大字剣吉 地内		
対策工計画図(3)	縮尺	1:200	
図面番号	8	葉中	6
三八県土整備事務所			
青森県			

対策工計画図(3) S=1:200



法面積													
1段目	面積 (m2)	2段目	面積 (m2)	3段目	面積 (m2)	4段目	面積 (m2)	5段目	面積 (m2)	6段目	面積 (m2)		
						4-1	9.77	5-1	20.49				
						4-2	33.15						
						3-3	36.18						
1-4	47.12	2-4	42.35	3-4	37.11	4-3	55.22						
1-5	29.22	2-5	36.84	3-5	38.33	4-4	72.59						
1-6	23.49	2-6	38.52	3-6	51.36								
1-7	24.26	2-7	51.43										
計	124.09	計	169.14	計	162.98	計	170.73	計	20.49				

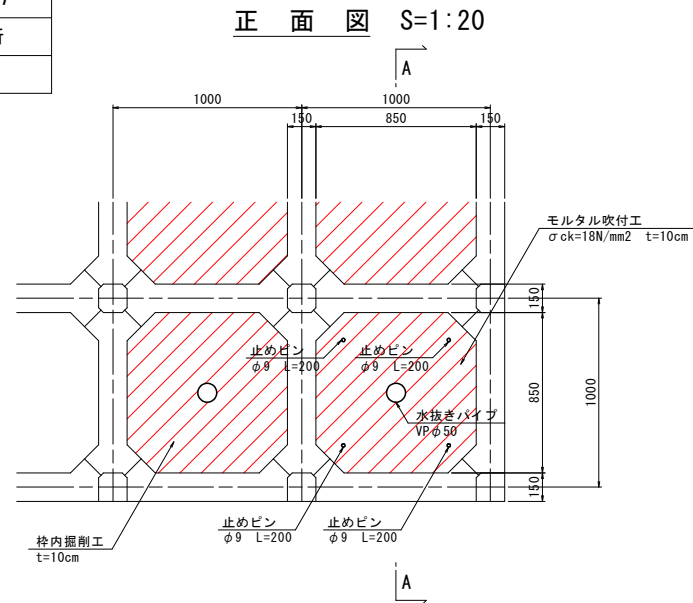
特記事項  
1. 展開図は想定によるものであるため、現地で計測すること。  
2. 面積は、CAD求積によるものである。

令和8年度		急傾斜地崩壊対策工事	
工事番号	繰急メンテ第4-1号		
路線名	伊勢沢区域		
施行所	三戸郡南部町大字剣吉 地内		
対策工詳細図(2)	縮尺	図示	
図面番号	8	葉中	7
三八県土整備事務所			
青森県			

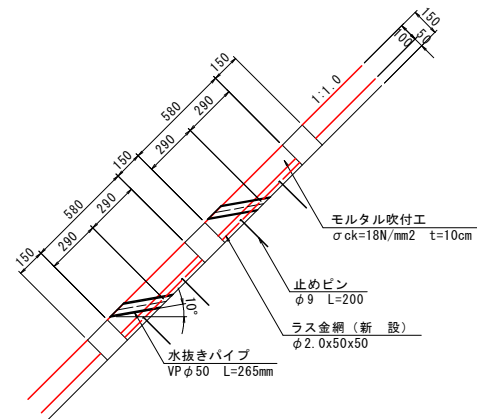
## 対策工詳細図 (2)

### プレキャスト法枠部

棒内吹付工

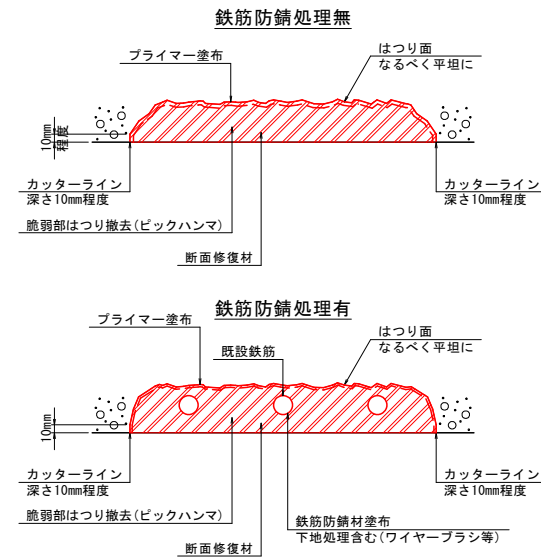


枠内吹付工詳細図 S=1:20  
 A-A



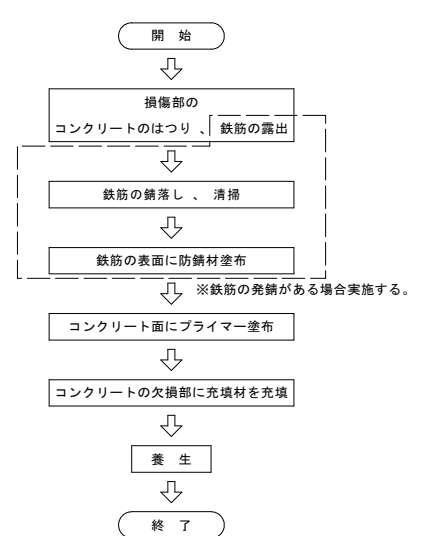
- (注記)
1. ラス網は、所定の大きさにカットした製品で計画している。
  2. 吹付厚10cmであることから、枠内掘削深さは10cmとして計画している。
  3. 枠内掘削後に法枠背面に空洞が見られる場合は、適宜処理すること。

断面修復工 S=Free



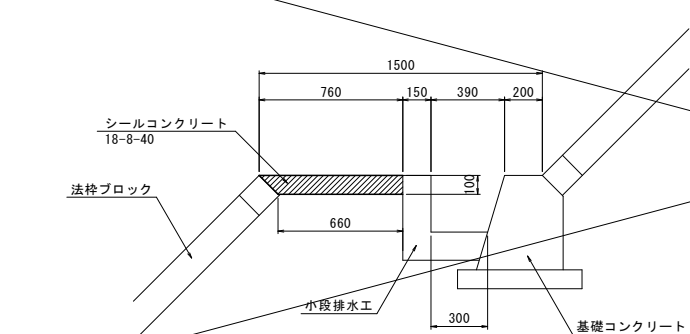
注) うき、欠損部でもはつりにより鉄筋が露出した場合は上図により施工すること。

## 断面修復の施工フロー

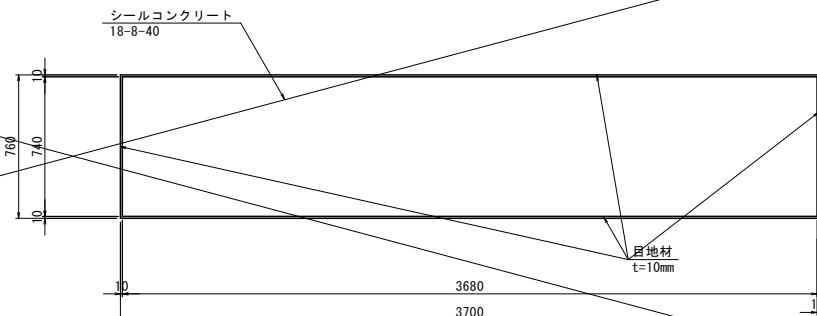


- (注記)
1. 各部位ごとに平均はつり深さを想定しているが、はつり施工後に数量を計上する。
  2. 端部はフェザージェッジにならないようにカッター目地により既設部を接触面を10mm以上確保すること。
  3. 断面修復材料は、ポリウレタンモルタルを使用する。
  4. 施工条件及び規格等は、使用材料の施工方法に準拠し適正に管理すること。
  5. 使用材料の取扱いについては、監督官の確認を得ること。
  6. 使用材料については、事前に監督官の承認を得ること。

シーリングコンクリート打替工 S=1:20

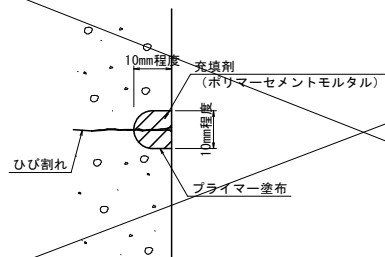


平面图

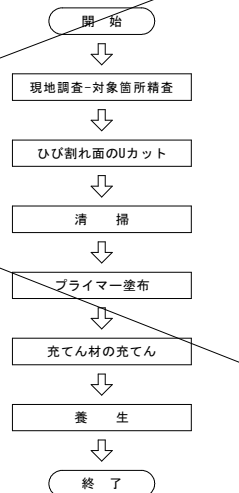


ひび割れ充てん工 S=Free  
ひび割れ幅5.1mm以上

### ひび割れ充填工

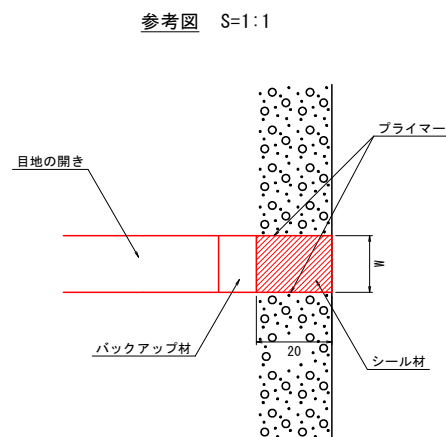


## ひび割れ充てん工の施工フロー



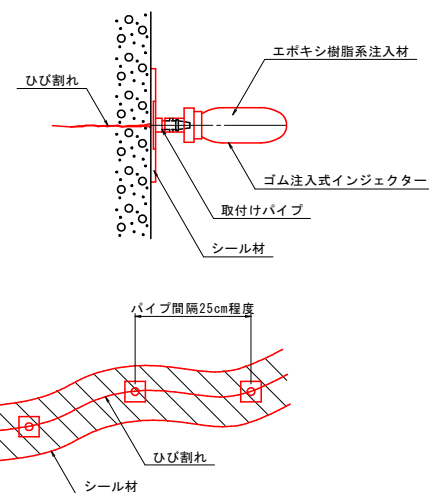
- (注記)
1. 施工前にひび割れ延長、ひび割れ幅の調査を実施し、補修箇所を特定すること。
  2. ひび割れ部はカッター等でワイヤブラシ等を用いて清掃すること。
  3. 充てん材はポリマーメントセメント系が、現場条件等により変更する場合は事前に監督員と協議すること。
  4. 施工条件及び規格等は、使用材料の施工方法に準拠し適正に管理すること。
  5. 使用材料の検収については、監督員の確認を得ること。
  6. 使用材料については、事前に監督員の承認を得ること。

### 目地充填工



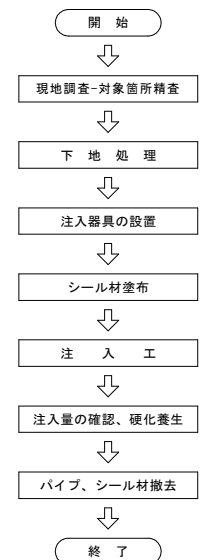
ひび割れ注入工 S=Free  
ひび割れ幅0.2～5.0mm

## ひび割れ注入工



- (注記)
1. 施工前にひび割れ延長、ひび割れ幅の調査を実施し、補修箇所を特定すること。
  2. ひび割れ部は注入器具の付与及びシール前にワイヤブラシ等で清掃すること。
  3. ひび割れ幅及び注入量により、注入ひび取り材の取付間隔を検討すること。
  4. 注入材はエポキシ樹脂系とするが、現場条件等により変更する場合は事前に監督員と協議すること。
  5. 施工条件及び規格等は、使用材料の施工方法に準拠し適正に管理すること。
  6. 使用材料の検収については、監督員の確認を得ること。
  7. 使用材料については、事前に監督員の承認を得ること。

## ひび割れ注入工の施工フロー





令和8年度	急傾斜地崩壊対策工事		
工事番号	緑急メンテ第4-1号		
路線名	伊勢沢区域		
施行所	三戸郡南部町大字剣吉 地内		
施行計画図(その1)	縮尺	1:300	
図面番号	8	葉中	8
三八県土整備事務所			
青森県			

施工計画図(その1)

枠内掘削工

防護工(参考図) S=1:100

現場打ち法枠部

プレキャスト法枠部

人家保全柵 H=1.5m

人家保全柵 H=1.5m

板張り防護工設置

板張り防護工設置

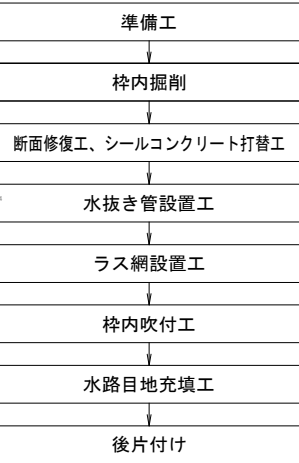
平面図 S=1:300

施工手順

現場打ち法枠部



プレキャスト法枠部



特記事項

1. 作用ヤードは借地であるため、適宜選定すること。
2. 工事車両通行時は、車両および歩行者の通行を優先すること。
3. 掘削は斜面に機械が進入不可であるため人力施工を想定している。
4. 土砂は、作業ヤードに集積し搬出する計画である。
5. 斜面作業時は、安全帯着用し転倒や滑落に注意すること。
6. 民家に損傷を与えない様に、斜面下部の人家保全柵に防護工(板張り)を行うこと。